

第三十二回歴史講演会

坂本龍馬 さかもとりょうま



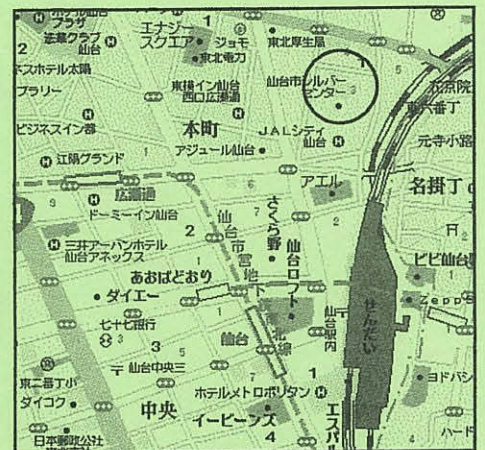
何の志ざしもなき所に
ぐずぐずして日を送るは、
実に大馬鹿ものなり

- 欧米列強の圧力に屈し唯々諾々と不平等条約を結んだ徳川幕府。皇室を中心に日本が一つとなって国家の独立を守ることが龍馬の願いでした。そのために、土佐藩を脱藩し身を捨てて薩長同盟の実現に力を尽した坂本龍馬。
- その後、龍馬の活躍で徳川幕府は大政を奉還し、明治維新が実現したのです。自分の人生を天下国家のために捧げる高き志があったればこそ、明治維新という大業も成し遂げられました。時代を担う皆様のご参加をお待ちしています。



おかだ みきひこ
講師 岡田幹彦氏
 (日本政策研究センター主任研究員)

- 昭和21年、北海道生まれ。國學院大学中退、学生時代より日本の歴史および人物について研究を続け、月刊『明日への選択』に「上杉鷹山」「勝海舟」等を連載するとともに、各地で講演活動を行っている。
- 現在、「元気のでる歴史人物講座」を産経新聞に好評連載中。



とき 4月29日(木・昭和の日) 午後2時～4時

ところ 仙台市シルバーセンター6階・第2研修室

参加費 一般1,000円・学生無料
(夫婦・親子は2人で1,000円)

主催 宮城ビジョンの会 Tel022(285)3383

後援 宮城県教育委員会・産経新聞社東北総局・日本会議宮城県本部